

トムトム通信

トムトムは

ハンディのある方とご家族のための

会員制のサービスセンターです。

第2号 99年12月発行 発行人：上杉桂子 TEL/FAX (0467)58-8335

10月5日 トムトムがリニューアル!

7月から立ち上げたパーソナルサービスセンター トムトムは、民間の木造平屋を拠点に、活動を開始しました。とっても落ち着いた昔ながらのお家だったのですが、やはりバリアフリーの構造とは言い難く、大家さんの方のご都合もあって去る10月5日に引っ越しをしました。

場所はお隣、社会福祉法人「翔の会」の新しいグループホームの1Fです。もちろん3高(古い!)「キレイ・広い・使いやすい」と、3拍子そろった願ってもない場所をお借りすることができました。お陰様

で会員数はうなぎのぼり(?)に増え、新しい明るいお部屋で利用者の皆さんは、パートナーと遊んだり本を読んだりゲームをしたりと、思い思いの時間を過ごしています。

あなたも一度、
ニュー・トムトムを
ちょっと
のぞきに來ませんか?

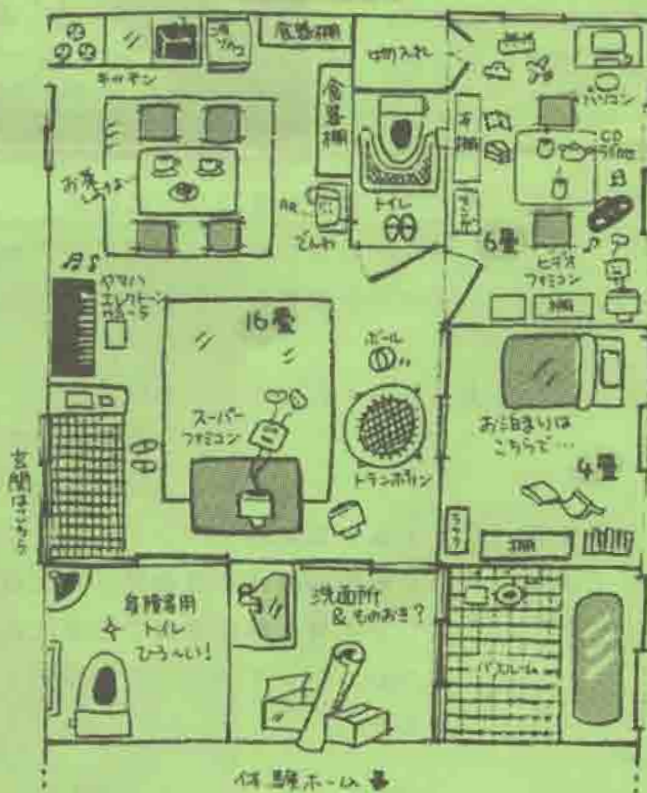


・・・突然ですが!・・・

テレビをゆずっていただけませんか?

トムトムの利用者に大人気のテレビゲーム。でもテレビの台数が少なく調子の悪いものもあります。お宅に眠っているテレビはありませんか? 新品、中古は問いません。よろしくお願ひします。

NEW トムトム



*秋以降の活動を振り返って

★9月26日(日)川遊びに行こう!(於)丹沢湖周辺 参加 7名

★10月16日(土)からだ・おとで遊ぼう

(於)香川公民館 参加 3名



「翔の会」の松永さんをお呼びして、きれいな布や、楽器を使った遊びを楽しみ、心も体もリラックスしました。「是非もう一度!」という声があり、2回目を検討中です。

★10月24日(日)新居お披露目「カレーライスパーティー」(於)トムトム

参加45名

米どころ新潟の黒黒茂子様より新米のコシヒカリをたくさん送っていただきました。それで新しいトムトムのお披露目にみんなが大好きなカレーライスを!ということに。ありがとうございました。



★11月 3日(祝)「ふれあいまつり」に出店 (於)茅ヶ崎中央公園

トムトムがバザーに2度目のチャレンジ! その結果は? 4ページの涙の(?)報告をお読み下さい。

★11月13日(土)トムトムでカレーを作ろう (於)トムトム

会員外対象 参加5名



★11月21日(日)トムトム体験イベント (於)トムトム 参加7名

茅ヶ崎市の肢体不自由児、者父母の会の皆さんを対象に行いました。青少年指導員の方々によるパネルシアター等も交えながら、バリアフリーの新しいトムトムを体験していただきました。

★12月12日(日)「横浜へ行こう!」

(於)よこはまコスモワールド 参加5名

今年最後のイベント、電車に乗って出かけました。ランドマークタワーや遊園地で横浜を満喫しました。

『トムトムを体験利用してみて』

高野 幸子

11月13日(土)午前9時より午後5時まで1日トムトムで過ごさせていただきました。なかなか思い切って利用することができず、丁度その日、1日子供1人で留守番しなければならなかったので利用しました。

いつでも留守番ができるため、ついつい家においていくケースが多い我が家でしたが、今回トムトムを利用して、もう一つのお家ができたと本人もとても喜んでいました。マンツーマンでスタッフがいるため、心強く、よくみていただけるので安心して預けられることが一番です。

また、普通の家とまったくかわりなく、アットホーム的で我が子にとっては良かったようです。今まで預けるところといたら施設しかないと本人も思っていたようで、最初は「いや」の一声でしたが、本人が納得いくように説明したら、「いってみる」との返事だったので思い切ってお願いすることにしました。結果的にはとても喜んでくれて「また行きたい」と答えが返ってきました。もしかしたら今までにない最高の場だったのでしょうか。

いつも思うことですが、だれも一人では生きられないと思います。そのためにも自分一人で抱え込むことなく、みんなで共に生きていけることの大切さを獲得すればよいのではないのでしょうか。

いつになったら親離れ・子離れができるのかなといつも思っていましたが、やっとその時期がきたようでうれしい限りです。

多くの方々に助けられながら生活していくことの大切さを感じました。

今回お世話になったスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。



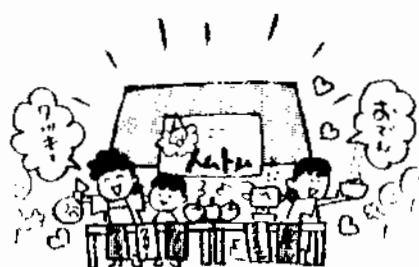
高野 優

土曜日はたいへんお世話になり、ありがとうございました。

ぼくは、いちばんたのしかったことはコンピューターゲームでした。2番目はカレー作りで、とてもおいしかったことです。3番目には、さんぽにあって好きな本を3冊かったことです。またトムトムにいてあそびたいです。そのときはよろしくおねがいします。

★10月～12月15日 『体験利用』 実施 利用者数25名

うち5名の方がトムトムの会員に！！



「うーん、あんまり儲かりそうもないなあ。」
電卓片手にため息をつく私を見て、「そんなに大変な思いをしてバザーなんかやるより、運営委員がちょっとずつ寄付した方が早いんじゃないの。」夫が冷たく言い放つ。「そんなことないのっ。儲けだけじゃなくて、トムトムをみんなに知ってもらうことに意味があるのっ。」と言いつつ、心の中で「なるほど、もつともだ。」と半分以上賛同

してしまっている自分が情けない。なにしろバザー係の私も高橋さんもバザーを仕切るのは初めてで、「売れ残ったらどうしよう。雨だったらどうしよう。」と不安は募るばかりである。でもここは強気で行くっきゃない。フランクフルトにおいて客を誘い、おでんで心と体をポッカポカにし、ラムネで子供心をくすぐり、手作り品で目を楽しませ、みやげにクッキーや不用品を持ち帰ってもらおうという作戦に抜かりはないはずだ。特にクッキー、マドレーヌは清原洋菓子工房の力を借りてプロ顔負けの自信作だし、(それもそのはず清原さんがやってくれちゃったんだもん。)手作り品だって全部自分で買い占めたいくらいだ。雨雲なんて気合いで吹き飛ばそうぜ!

そして11月3日、当日。心配されていた天気もOK。ちょいと寒いがおでんにゃもってこいだ。てんやわんやの大騒ぎのうちに、ふと気がつくと、我が家では絶対お目にかかれない超高級梨から「世の中にゃ、こんなもんまであったのネ。」と感心してしまった珍品まで全て売りつくしている。

「フォッ、フォッ、フォッ、思い知ったか我が夫。見よトムトムの底力を！」
果たしてその勝因やいかに。まず看板がとても可愛く目立ったこと。(上杉さんのおかげよ)食べ物から手芸品までバラエティーに富んでいたこと。値段を低くした事かな?それにしても、おでんは200円に下げたから飛ぶように売れたのか、もっと高くても良かったのか、場所は入口付近で良かったのか、もっと奥の方がベターだったのか。諸説紛々、いまだに謎に包まれている。

最後になってしまったが、お手伝いして下さったボランティアの皆さん、物品を寄付して下さった方々、清原洋菓子工房さん、本当にありがとうございました。ただ感謝感謝です。

人間うまく事がはこぶと欲が出るもので、「今度は井物にしようよ、あてくじもやるうよ」などと話が弾んでいる。私の頭は今、100人分ものご飯をいかにして調達するかでいっぱいである。



先日、某研修会に参加したとき、ある施設長にお会いしました。その施設長は「ハンディのある方々が自分の住んでいるところで出来る限り暮らせるように」と頑張っている方です。でも今度その法人で入所施設をつくることになったとのこと。その理由を苦笑しながら次のように話をしてくれました。「いや、どうしてもうちの保護者が希望するんだよ。保護者ってのは、街なかの一軒家じゃ安心しないんだな。とにかくコンクリートで固めた建物でなけりゃだめなんだな」。その言葉にいろいろと考えさせられてしまいました。

「コンクリート」の中の生活ってどれほどの人が知っているんだろう。

例えば、我々の楽しみの一つに「食事」があります。その中では食事の時間は決められています。「今日はお腹がすいたから早くご飯が食べたい」といっても通用しません。また、メニューは決められています。「今日のメニューはカレーだけど、本当はラーメンが食べたい」と思っても無理です。「夕食が少なかったからちょっと外へ出て夜食を買ってきたい」とんでもないです。こんな生活です。

個人の生活というのはある意味ではかなり「アバウト」なものだと、私は思っています。しかし、それは実をいうととても大切なものなのです。しかし、その「アバウト」さは全て切り捨てられてしまいます。

そんな生活の中のどこに「安心」があるのでしょうか。あるとすれば誰のための「安心」なのでしょう。そして、「安心」があるという「幻想」を抱かせるものは一体なんなのでしょう。

その日彼は建設中の「器」を見せてくれました。彼はそれを見上げ、誰にともなくぼつりと呟きました。「本当にでかいよな」と。

(柏原 正矢/常勤)

トムトム会員のリレートーク (第1回)



「トムトムを利用して」

伊藤 久美子

我が家には10才になる茅ヶ崎養護学校へ通う息子、大地がいます。まだ大地が小さい時は、身内や友人に助けられながら生活をしてきました。この頃はなかなか本人の動きが活発になってきたので少しの時間でも預けるのが申し訳なくなってきました。それに、上の兄姉達もちょうど学校関係などの大事な時期になりたびたび預けることが多くなりました。

そんな時に、トムトム設立の準備に少しお手伝いをさせて頂いていたので“早く本当にできるといいなあ”と心待ちにしていました。「トムトム」に登録し3カ月ほどたちますが、これまで4回ほど利用しました。

利用方法は、学校にお迎えに行ってもらって5時過ぎに自宅まで送ってもらったり、日曜日に5時間ほど利用したりと急なときもあり、その時は夜にもかかわらずすぐに対応していただけて、翌日心配をしないででかけられたのには、利用していてよかった！！とつくづく思いました。

今までは、家族と時間の調整をして都合がつかなければ全部断っていましたが、これからはそんな事も少なくなるでしょう！

ただ、やはり利用料の事はちょっと厳しい面もありますが、我が家では今回利用してみて、お金には代えれない安心感を味わいました。上手に利用することにより、家族、本人にとってよい事だと私は、思っています。



..... トムトムからのお知らせ

* 2000年は諏訪先生の講演会からスタート！！

ピンクのチラシをご覧いただけましたか？

「放課後・お休み・どうしてる？」と題して県央療育センターの諏訪利明先生をお迎えして講演会を行います。ハンディのある方達の余暇支援について、元気の出るお話が聞けそうです。どなたも是非ご参加下さい。



と き： 1月28日（金）AM10時～12時

と ころ： 茅ヶ崎女性センター 大会議室（ダイクマ隣り、
トラストビル4F）

資料代： トムトム会員 500円 会員外1000円

※保育あり（申し込み制）

おやつ・保険代 200円程度

保育申し込み 1月21日（金）までに

トムトムまで

* おかげさまで会員が増えています！

7月設立当初、利用もポツリ、ポツリでどうなることかと心配していましたが、12月15日現在で利用会員は31名と今年度の目標をクリアするまでになりました。新しいトムトムに移り、肢体不自由の皆さんが利用しやすくなったことや、対象のエリアを広げたことも要因ではあるのですが、何と云っても利用して下さった皆さんが「くちコミ」で宣伝していただいたことが大きいと感謝しています。これからも皆さんのさらなる「営業活動」をよろしく願います。

障害ある お子さん



茅ヶ崎「トムトム」

茅ヶ崎「トムトム」の青年女子チームがボール
で遊ぶ「男の子にとって闘闘士の喜び
も大い」そして「多岐な障害を抱

お預かりします

理由は問わず 24時間、365日 子らのびのび

会員は茅ヶ崎市、平塚市、利用者が多く、会員
市、藤田町の千三百人会の主婦ら四人が手伝には業
員のもともとは、小学生半、運営方法、委員十人
八人、中学生二人、高校生で決める。委員の七人が会
三八、二十歳の男性一人、員だ。
スタッフは常勤の男女各一 職員は、それぞれ約八

障がいのある子どもや大人を預かる「トムトム」サ
ービスセンター「トムトム」(王様様子代母が七月
に発足、茅ヶ崎市緑園のアパート風の二階で活動し
ている。障がいのある子どもや大人を預かるという
と二階に通いやすいように希望する。朝晩は付き
添いでサービス「トムトム」を自宅で二階に通いす
べしなどがある。二十四時間、三百六十五日、障
がいの困る預ける預けられる「子どもがの
びのび通うのを希望する」のが特徴。会員の母親
たちに、子どもは通う時間を提供している。

親たち共同運営

十辛喜。
副代表の田尻順子さん
は、小笠原市の長男
が身体不自由。できるだけ
地域のおきんとかがわり
を持ってほしいと申し
で茅ヶ崎の小笠原に通
い。月一回は「トムト
ム」の子どもに男を預
けている。小笠原市の長
女と二人きりで遊び

一週間は「トムトム」
夏休みのサマースクール
に、自閉症の長女(小三)
を任せた金子さんご
は、公園で次男と自転
車の練習をしたり、ア
ムに行きたりした。夏
休みの長女が主になり
長男や次男に不満が
たまるといふ。

トムトムのスタッフ山
本美津さんごは「母親とい
つても「預かいたは限
り」と話す。「預か
い」の前にかかっていた小
笠原市の短期講習を前
年のサマースクールに行
った。茅ヶ崎でも各障
がいの子どもを預か
うといふ。

会員たちの前には利用料
だ。手袋や靴下などの
ほか、毎月の利用時間によ
り、一時間六百円、半
日二千円かかる。月
も月一、三万円の費用
になる。

会は、三市町と藤原市
の障がい児や障害者を対象に
体験利用の機会を設ける。
十三日のカレパティ
は健康大会で、すでに五人
が必要している。応募者が
多ければ、別の日に設
けたい。詳しくはトム
ム(0477・24・8111
)へ。

11月7日付 朝日新聞にトムトムが紹介されました!

***非常勤スタッフが新しく2名加わりました。**

小河恵理さん、角田沙弥さんです。どうぞよろしく申し上げます。

***ボランティア急募！平日の午後、お手伝いいただけませんか？**

トムトムの利用が集中するのは、平日の放課後から夕方にかけてです。このところの会員や利用数の伸びに支援側は、うれしい悲鳴をあげながらも支援してくれるスタッフの確保が急務となっています。お知り合いなどがおられましたらよろしく申し上げます。

***継続して行政に支援を求めていきます。**

パーソナルサービスの必要性を証明するかのようにはトムトムの会員が増えてきました。しかし、利用料については殆どの方が高いと感じています。現在のトムトムは会員の皆さんの利用料や賛助だけで成り立っており、トムトムを続けていくためにはこれがギリギリの額なのです。他県のように行政がこのサービスに助成してくれればと強く思います。最近も運営委員で、県の障害福祉課などに出かけ、現行の補助が受けられる制度の対象にならないかを尋ねてきました。が、現在のところ、答えは「NO」ということでした。トムトムの活動を安定させ、またより多くのハンディを持った人や家族が気軽に使えるサービスにするため、今後も色々なところへ働きかけていきます。

***2月初旬、常勤が研修に出かけます。**

2月4～6日の3日間滋賀県にて「アメニティフォーラム IN しが」という、近年恒例のイベント（3回目）が開催されます。これは、全国各地で地域支援サービスを立ちあげている人達が集い、シンポジウムやポスターセッションを通して情報交換をするために行われるものです。トムトムからは代表、常勤1名が参加する予定です。こういったサービスを育てていくために、各地の動きや福祉行政の方向性を知っておく事は是非とも必要といえます。トムトムの活動をさらに大きく展開していくため、利用会員の皆様には、研修会等の参加に対して今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

- ▼去年の今頃「こんなサービスがあればなあ」なんてぼんやり思っていたのに！そのサービスがトムトムという形になって、動き出し、もう半年も経っているとは・・・。1年というのは、長いような短いような・・・。（て）
- ▼2000年！減多に経験できるもんじゃないし、もっと感慨をもって迎えたかったのに・・・。まったく、いつもと同じ年末だ！！（き）



「トムトム」へのお問い合わせは、お気軽に！

〒253-9071 茅ヶ崎市萩園1624

TEL/FAX (0467) 58-8335

緊急用携帯電話 (090) 4625-5767

郵便局口座番号 10250-75536841

《名義：パーソナルセンター「トムトム」》

http://www05.u-page.so-net.ne.jp/gf6/tom_tom